

## 令和元年度 施策評価表

施策	2001	環境保全の推進	施策担当部	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課	環境保全課	課長	小中尾 政則
<b>施策の方針</b> 地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。						

**【DO（実施）】**  
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 市の公共施設における温室効果ガス年間排出量	t - co2	32,344	32,021 28,904	31,698 27,005	31,375 28,447	31,052	30,727	110.3%	108.0%
② 大村湾のCOD値	mg/L	2.5	2.0 2.1	2.0 2.0	2.0 2.1	2.0	2.0	105.0%	105.0%
③ 環境講座・イベントへの年間参加者数	人	1,159	1,200 594	1,200 827	1,200 696	1,200	1,200	58.0%	58.0%
④									
⑤									

**施策達成状況の説明**

- ①市公共施設からの温室効果ガス総排出量は、前年度比3.9%の増であるが、基準年度(平成26年度)比は12.0%の減となり、目標を達成できなかった。
- ②大村湾のCOD（化学的酸素要求量）値は、湾全体平均値は2.1mg/Lで目標値2.0mg/Lを達成できなかった。観測地点別にみると、湾沖合においては低い値（1.7mg/L～1.9mg/L）であったが、沿岸近くにおいては2.0mg/L以上の地点が多く、特に湾奥では高い値（2.6mg/L）であった。
- ③環境保健研究センターでの環境講座において、ドライブシュミレーターを環境カウンセリング協会から借用できず未実施となったため、減少に転じ目標を達成できなかった。（前年度比131人減：15.8%減）

**施策経費**

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	19,027	4,161	6,035	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	767	1,152	1,810	
	地方債	13,700	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	4,560	3,009	4,225	
人件費		14,668	12,203	-	
フルコスト		33,695	16,364	-	

**施策の概要**

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。 また、公共施設については、太陽光などを活用した再生可能エネルギーを今後も率先して導入するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。 また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習の充実を図ります。

**【CHECK (評価) 施策担当部長】**

施策を達成 する上での 問題点・課 題	(地球温暖化の推進) ・市公共施設における温室効果ガスの排出量は、ボート事業のナイター化、中学校給食センターの稼働により電気の使用量が増加しており、県立・市立一体型図書館の建設により、更に電気の使用量の増加が見込まれる。今後とも、公共施設等の建替えや新築時、増改築時等において積極的に再生可能エネルギー等の導入や省エネルギーの推進を行う必要がある。 (豊かな自然環境の保全) ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進したことにより、大村湾全体の水質は改善傾向にあるが、湾奥部の水質は依然として環境基準を達成しておらず、貧酸素水塊等も毎年発生している状況にある。 (環境保全意識の醸成) ・小中学生については、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候に左右される。
------------------------------	--

**【CHECK (評価) 評価調整委員会】**

(This area is currently blank in the provided image.)
---

**【ACTION (改善・改革)】**

問題点・課 題を踏ま えた施策 構成事 務事業 の改善・ 改革 や新規 事業に ついて の考 え方	(地球温暖化の推進) ・全職員を対象としたノーマイカーデーの実施方法について再度検討するとともに、併せてエコドライブ運動にも取り組んでいく必要がある。 (豊かな自然環境の保全) ・県や沿岸5市5町等で構成された大村湾をきれいにする会(会長:大村市長)が、引き続き環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、浅場の造成、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。 (環境保全意識の醸成) ・教育委員会等と連携をとり、対象となる小学生によりわかりやすく、内容を深めた環境学習を行う。 ・県・環境保健研究センターと協働で行う環境イベントを開催する。
--	--

**令和2年度新規事業**

事業名(仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費(千円)	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	